

「(仮称) 郡山市総合交通計画マスタープラン (案)」にお寄せいただいた御意見等と郡山市の考え方 (案)

受付番号	御意見	郡山市の考え方
1	<p><提案事項> JR 安積永盛駅から南拠点地区、麓山地区、開成地区を経由して JR 郡山富田駅を繋ぐコミュニティバス路線の開設を提案します。</p> <p><背景・目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・郡山市の路線バスは JR 駅発着がメインとなっており、JR 郡山駅を経由せず南北を移動する手段がない。 ・今年度麓山地区に公共駐車場が完成したことで、本駐車場を起点と市内の移動が可能となる。 ・沿線にはザ・モール、イトーヨーカドー等の大型商業施設や、太田西ノ内病院、南東北総合病院 (予定) といった総合病院も立地し、自動車を保有しない市民にとっても生活の足となり得る。 ・南拠点地区にはビッグパレットがあり、令和 8 年度には県合同庁舎が開庁予定、麓山地区には既存の文化施設 (文化センター含む) に加えて令和 5 年度に「郡山歴史情報・公文書館」が開設予定、開成地区は市役所を始めとして、開成山公園、体育施設の整備事業が進められており、人の往来が今後増えていくことが予想される。(JR 郡山富田駅周辺も南東北病院の移転等の計画あり) <p><提案詳細></p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業距離：約 13km 	<p>郡山駅を経由しない安積永盛駅と郡山富田駅を繋ぐコミュニティバス路線の開設ではありますが、現在、市街地を南北に移動する手段としては、鉄道利用のほか、福島交通株式会社により、郡山市役所を経由し、太田西ノ内病院前 (並木一丁目) と安積団地 (安積町笹川) を結ぶバス路線「西ノ内安積線」が運行されております。</p> <p>当マスタープランにおいては、安積永盛駅を含めた交通結節点の機能強化と利便性の高い公共交通ネットワークの形成を施策の一つとして位置付けているところであり、いただいた御意見につきましては、運行事業者である福島交通株式会社に情報提供いたします。</p>

※JR 安積永盛駅⇔（県道 17 号線・文化通り・はやま通り・内環状線）⇔JR 郡山富田駅

- ・運行時間（案）：7 時台～21 時台
- ・運行間隔（案）：双方向から 30 分間隔
- ・運賃（案）：100～200 円の均一料金 ※子供は半額

<その他>

- ・移動手段として LRT、モノレールの導入も検討したが、採算性、工期の長さ、事業維持・継続の観点からコミュニティバスが適切と評価。
- ・車両には水素燃料、電気を動力とした自動車を用いることで SDGs の取り組みにも寄与。
- ・JR 郡山駅を経由する必要があるか、運賃・運行時間/間隔が適切か、需要が見込めるかという点については広く市民にアンケートを取るなどしてニーズの確認が必要。